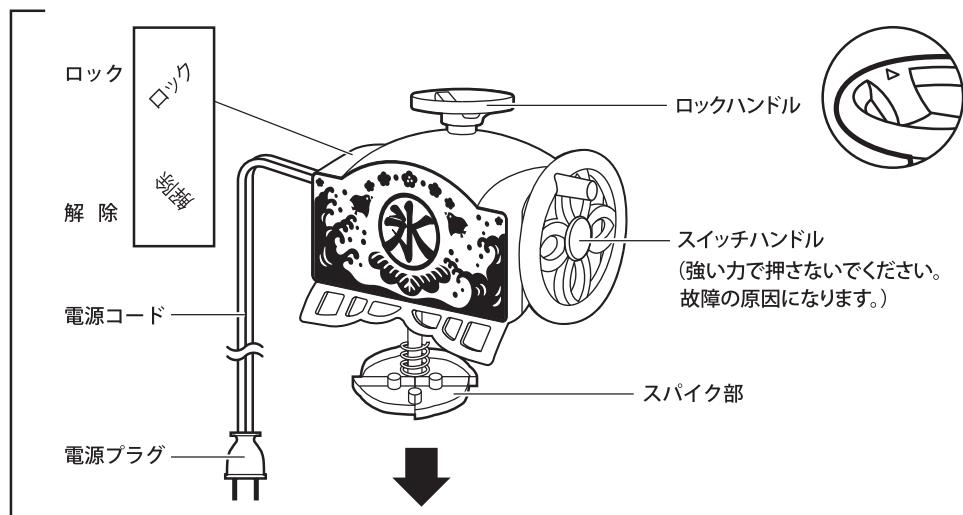
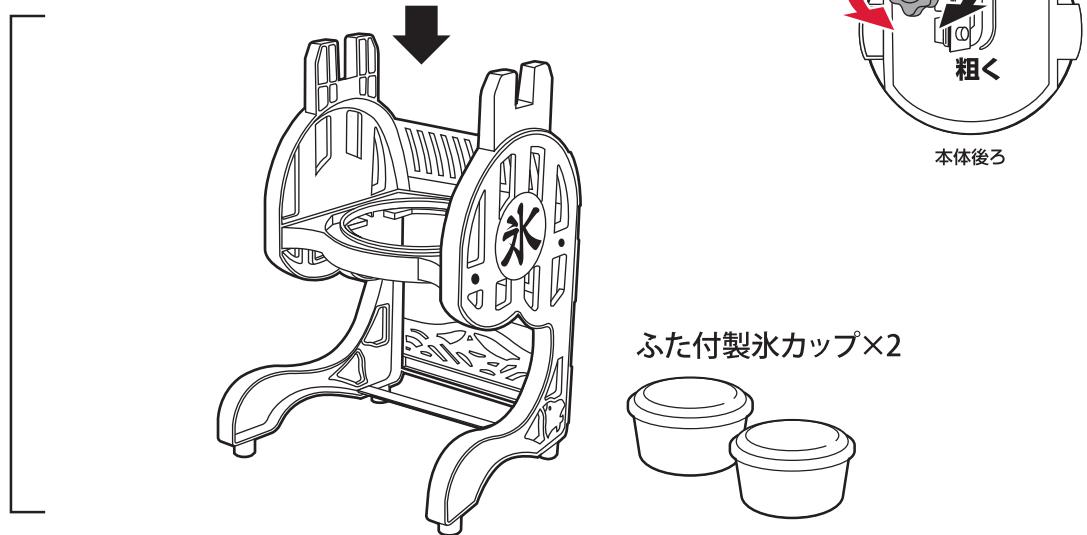


各部の名称とはたらき

本体



スタンド



ご使用になる前に

- はじめてご使用になる前に、傷・凹み、ひび割れなどの不具合がないことをご確認ください。
- 本体のシールは、はがさないでください。
- 品質には万全を期しておりますが、万一不具合があった場合は、ご使用にならないで、お買い求めのお店または当社お客様相談室までご連絡ください。

正しい使いかた

⚠ 注意

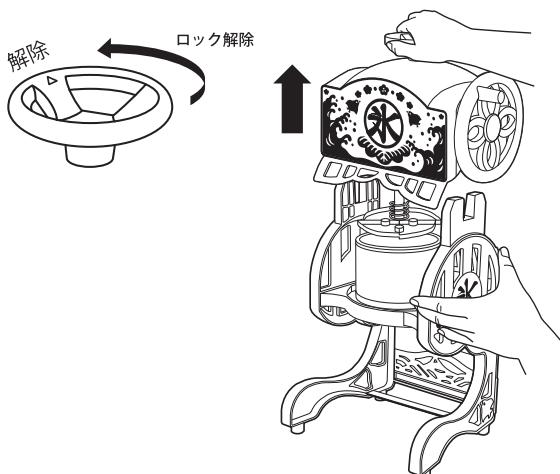
- 子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない。
けがや感電の原因になります。



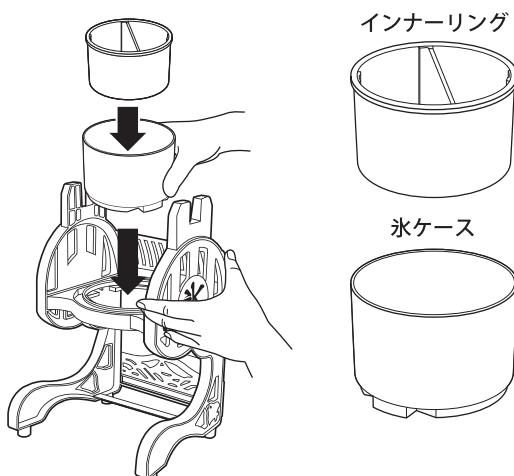
1. 製氷カップに水を約8分目まで入れて
ふたをきちんと閉めたのち、冷凍庫で
凍らせる

ご注意：

製氷カップいっぱいに水を入れて冷凍すると、製氷
カップがふくれたり、破損したり、カップのふたが飛
んだりすることがあります。水量にご注意ください。



2. ロックハンドルを解除の位置に合わせ、
ロックハンドルを持ちながら本体を
スタンドから外す

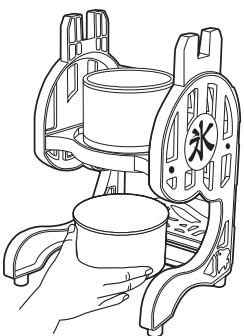


3. スタンドに氷ケース、インナーリング
の順にセットする

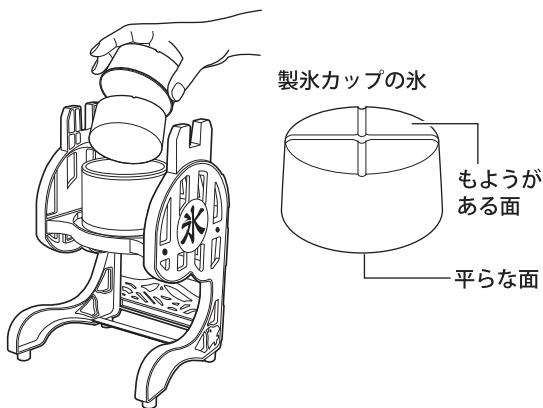
※氷ケースはラベルの貼っている側を奥にして、
セットしてください。

※しっかりととはまつたのを確認してください。

正しい使いかた



4. スタンドの部分にかき氷を受ける器を置く

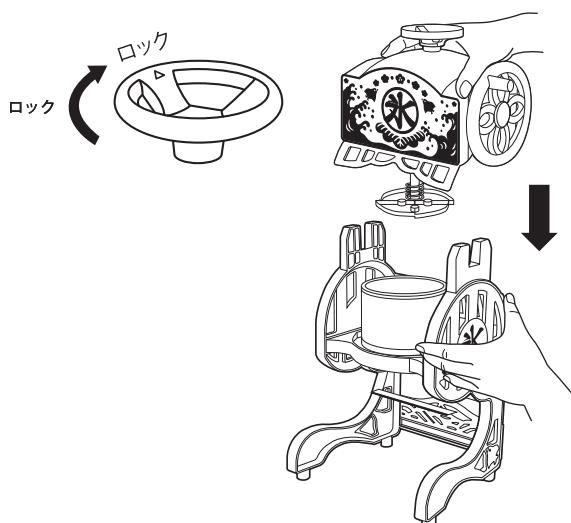


5. 製氷カップの氷の平らな面を下にして氷ケースに入れる

※氷を取り出すときは製氷カップの裏側に水をかけると取り出しやすくなります。

ご注意：

- 氷を製氷カップから取り出すときは、たたきつけないでください。破損の恐れがあります。



6. 本体をスタンドに差し込み、ロックハンドルがロックの位置にあることを確認し、電源プラグをコンセントに差し込む

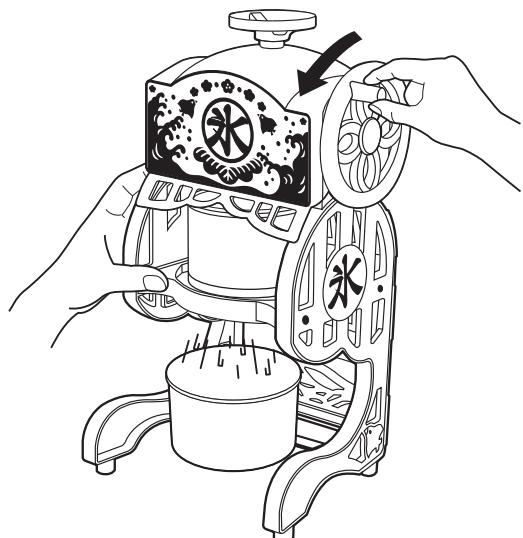
ご注意：

- 持ち運ぶときはスタンドごと持ち運んでください。
- ロックが解除された状態で本体をセットしてください。ロックが解除されていない状態で無理にセットすると故障の原因になります。
- 本体を氷ケースにセットするときは無理に押し込まないでください。抜けなくなる場合があります。
- ぬれた手で直接電源プラグを持つと危険です。必ず乾いた手で持ってください。

正しい使いかた

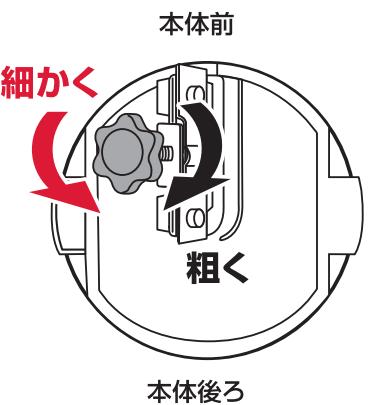


スイッチハンドルを強い力で押したり、反対側へ押さないでください。破損する恐れがあります。



7. スイッチハンドルを矢印の方向へ手でゆっくりと下へ押す

- スイッチハンドルを押すとスパイク部が回転して氷を削ります。
- スイッチハンドルから手を離すとスパイク部がストップします。
- 氷が引っかかり削れなくなった場合は、一度本体をスタンドから外して再度本体を取り付けてください。



本体前

本体後ろ

8. 刃の高さ調整ネジを回して、氷のキメをお好みの粗さになるよう調整する。

- 刃の高さ調整ネジは、黒い矢印の方向へ回すと削れる氷が粗くなり、赤い矢印の方向へ回すと削れる氷が細くなります。
- 刃の高さ調整ネジを赤い矢印の方向にまわしすぎると、氷に刃があたらず空回りしてしまう恐れがあります。

※本体の前・後ろを確認した上で、それぞれイラストの方向に刃の高さ調整ネジをまわしてください。

ご注意：

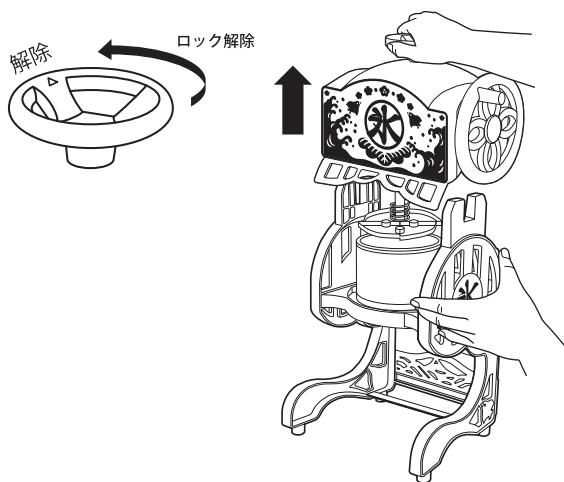
- 氷ケースの中の氷がなくなった場合でも、自動停止はしませんので、氷が削れなくなったらスイッチハンドルから手をはなして運転を停止してください。
- スイッチハンドルを押してもモーターが作動しないときは、一度本体を外して、氷ケース内の氷の量を確認してください。

●2分以上連続して使用しない。
モーターの異常過熱の原因となります。

●刃・スパイク部に触れない。
けがの原因になります。



正しい使いかた



9. 電源プラグをコンセントから抜き
ロックハンドルを解除の位置に合わせ、
ロックハンドルを持ちながら本体を
スタンドから外す



10. 氷ケースに残った氷を捨てる

※構造上、氷ケース内に氷が残ります。続けて氷を削るときは、氷ケース内に残っている氷を必ず捨ててください。残ったまま新しい氷を入れると空回りして削れません。



11. 本体に残った水分をふきとる

ご注意：

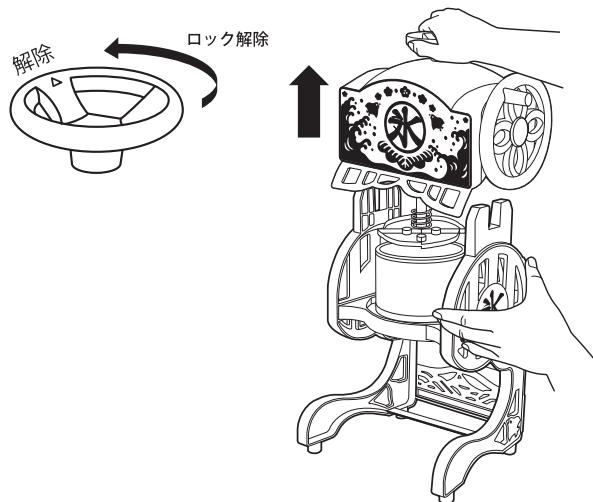
使用後は本体に付着した水が垂れることがありますので、ふきんなどの上に置いて水切りをしてください。

お手入れと保存

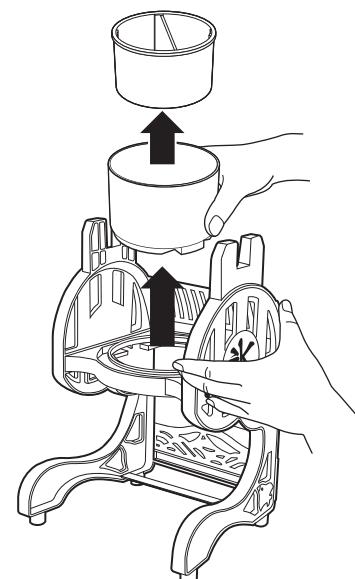
⚠ 警告

お手入れの際は、必ず電源プラグを抜く。
感電やけがの原因になります。

本体・スパイク部



1. ロックハンドルを解除の位置に合わせ、
ロックハンドルを持ちながら
本体をスタンドから外す
2. 電源コードを束ねる
3. スタンドから氷ケース・インナーリングを外す
スタンドと氷ケースは軽く引っ張って外してください。
その際、刃には充分注意してください。
4. 本体のスパイク部を乾いた布で拭く
完全に乾いた状態で保存してください。



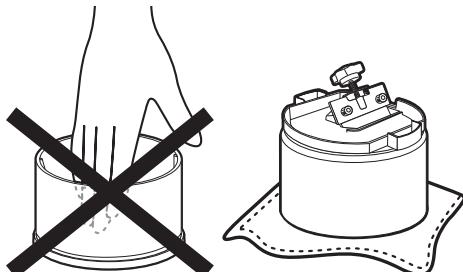
お願い

- お子様には絶対に触れさせないようにしてください。
- 住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉などは使わないでください。変色や変形の原因になります。
- 落ちない汚れは布に中性洗剤をしめさせてよくしぼってから軽くふき取ってください。
- 本体は水をかけて洗わないでください。
感電や故障の原因になります。



お手入れと保存

氷ケース・インナーリング

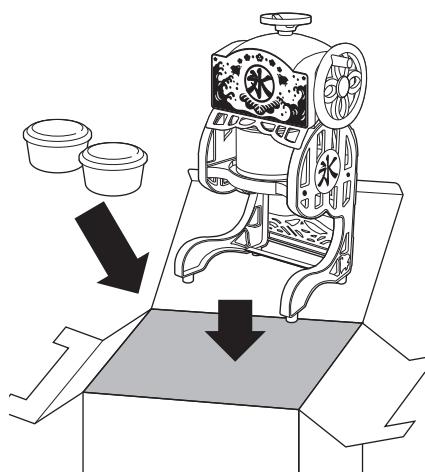


注意

●刃は直接手で触れない。
けがの原因になります。

1. 氷ケースの刃には直接手を触れないよう水洗いをして、ふきん等の上に置いて完全に乾かしてください。刃や刃の高さ調整ネジなどの金属部分に水が残っているとサビが発生する恐れがあります。
2. 完全に乾かしたあと、刃に食用油を塗って保存する

保存のしかた



長期間ご使用にならない場合は、サビが発生しますので、完全に乾いてから箱に入れて保存してください。

修理・サービスを依頼する前に



警告

修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない。

「故障かな？」と思ったときは次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
スイッチハンドルを押しても運転しない	氷の量が多すぎてはいませんか。	氷の量を減らしてください。
	電源プラグが抜けていませんか。	電源プラグをしっかりと差し込んでください。
	氷ケースと本体が正しくセットされていますか。	正しくセットしてください。
	氷が氷ケースに入っていますか。	氷を氷ケースに入れてください。
氷が削れない	氷ケース内に削れずに残った氷が入っていないませんか。	氷を取り除いてください。
	氷が氷ケース内で引っかかっていませんか。	箸などで氷をかき回してください。
	スパイク部が空転していませんか。	一度本体をスタンドから外して、再度本体を取り付けてください。
	インナーリングが氷ケースにセットされていますか。	インナーリングをセットしてください。
氷が空転してしまう	氷の表面が真っ平らになってしまっていませんか。	氷ケース内の氷を動かしたり裏返してください。
	氷ケースの刃の隙間・溝部分に削った氷が詰まっていますか。	詰まっていたら、氷ケースを取り出し、水道水等で流し、取り除いてください。
	刃の高さ調整ネジを赤い方向へ回しすぎていませんか。	氷が削れる高さまで黒い矢印の方向へ回し、刃の高さを調整してください。

長年ご使用の電動氷かき器はよく点検を

このような症状はありませんか？

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- コードを動かすと、通電したり、しなかつたりする。
- こげ臭い匂いがする。
- 他の異常・故障がある。

このような症状のときは、事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシシャお客様相談室に点検をご相談ください。